

# SOC330 住民組織論

3年 1,2クォーター

担当教員 田中 志敬

授業形態 講義, 演習

アクティブ・ラーニング 該当しない

単位数 2

曜日・時限 金曜日・2時限

## 授業概要

生活圏の地域課題解決を担う住民組織の共助のあり方について、理論と事例から学ぶ。授業の前半部（1~8回目）は、都市・郊外・農山漁村・世界の住民組織等の幅広い事例を紹介する。そこで、組織構成・活動内容・成立経緯や歴史的変遷等の住民組織の基本的特性をつかむとともに、その多面性や共通性についての知識と理解得る。

授業の後半部（9~15回）は、住民組織が地域課題解決のアクションへと歩みだすリアリティをとらえるために、これまでに担当教員が関わってきた実践事例等から学ぶ。そこで、地域課題の現状や解決に向けた取組みを、地域社会状況や人間関係、住民の自助や公的機関の公助との相互補完関係や協働関係等、流動的かつ多様な側面も分析しつつ、初動期・実践期・成熟期（継承期）の活動段階毎の展開の道筋を検討していく。

## 到達目標

学生は、

- (1) 住民組織の概念・理論を理解する。
- (2) 住民組織の構成・活動内容・歴史的経緯を学び共通性と多面性を理解する。
- (3) 住民組織が担う地域課題の解決に向けた実践事例を学ぶ。
- (4) 自助・共助・公助の補完関係・協働関係の中で、住民組織の役割を探る。
- (5) 住民組織の直面する課題を読み解き、課題解決に向けた道筋を検討する。

## 先修科目

必須ではないが住民組織とコミュニティを受講していることが望ましい。

## 教科書・参考資料等

絶版書も含まれるため、講義時に下記等の参考文献を適宜紹介する。

- (1) 岩崎信彦・鯉坂学・上田惟一・高木正明・広原盛明・吉原直樹編、2013、『増補版 町内会の研究』御茶の水書房。
- (2) 鯉坂学・小松秀雄編、2008、『京都の「まち」の社会学』世界思想社。
- (3) 中田実編、2000、『世界の住民組織—アジアと欧米の国際比較』自治体研究社。
- (4) リム ボン・まちづくり研究会編、2009、『まちづくりコーディネーター』学芸出版。

## 授業の方法

この授業は講義・演習方式で進める（講義形式 50%、演習形式 50%）。毎回の授業の前半は講義形式で基本的枠組みや事例紹介を行う。また後半は事例等について適宜ディスカッションを行いながら、議論を掘り下げていく。その他、定期的に小レポートを課し、個人の学びと問題意識の展開を確認しながら、期末レポート作成へとつなげる。

## 成績評価

授業時のディスカッションや小レポート、期末レポートで評価する。

## 成績

- 30% ディスカッション
- 30% 小レポート
- 40% 期末レポート

## 授業スケジュール

---

### 第1回：授業概要，住民組織の基礎概念・理論①

一連の授業の流れを概説するとともに，多様に存在する住民組織について関与形態や活動領域で分類整理しながら，その特徴を俯瞰的にとらえる。

### 第2回：住民組織の基礎概念・理論②

コミュニティとアソシエーションの定義等を用いて，住民組織の理想的・概念的特徴をとらえる。

### 第3回：都市社会を支える住民組織①

伝統的に住民自治が展開してきた京都を事例に，町内会・自治会および連合町内会の組織構成や活動の現状をとらえるとともに，室町時代の共同防衛から始まる共助の歴史的系譜をとらえ，住民組織の本質的な役割について検討する。

### 第4回：都市社会を支える住民組織②

伝統的に住民自治が展開してきた京都を事例に，町内会・自治会および連合自治会が，地域課題にどのように対応し，自らを変化させてきたのかをとらえる。

### 第5回：農山漁村社会を支える住民組織①

映像資料等で農山漁村での共助の取組みを紹介し，地域生活を支え合うリアリティをとらえる。

### 第6回：農山漁村社会を支える住民組織②

農山漁村の社会関係を，家共同体と地域共同体の両面からとらえながら，地域生活を支える住民組織の本質的な役割について検討する。

### 第7回：福井の住民組織

福井市および福井県の地域課題を整理し，校区コミュニティの住民組織の組織構成や活動を概観しながら，課題解決の取組みをとらえていく。

### 第8回：世界の住民組織

自然発生的な住民組織や公設型あるいは制度型の住民組織など，多様な住民組織の姿をとらえる中で，組織構成や組織原理，活動内容等の共通点や相違点を検討する。

### 第9回：住民組織を取り巻く社会状況の変化と課題の検討①

住民組織が担う地域課題の解決に向けた実践事例を紹介する中で，当事者目線での課題整理，活動の組織化等のポイントをつかむ。

### 第10回：住民組織を取り巻く社会状況の変化と課題の検討②

住民組織が担う地域課題の解決に向けた実践事例を紹介する中で，当事者目線での課題整理，活動の組織化等のポイントをつかむ。

### 第11回：自助・共助・公助の中の住民組織の役割①

住民組織と支援団体が協働した地域課題の解決に向けた実践事例を紹介する中で，支援者目線での課題整理，活動の組織化等のポイントをつかむ。

### 第12回：自助・共助・公助の中の住民組織の役割②

住民組織と支援団体が協働した地域課題の解決に向けた実践事例を紹介する中で，支援者目線での課題整理，活動の組織化等のポイントをつかむ。

### 第13回：地域課題解決の実践事例の検討①

受講者の関心がある住民組織について，文献や事例を調べ現状と課題をとらえる。また進捗状況をお互いに報告し合うことで知見を広げ，自らの課題解決の提案を磨く。

### 第14回：地域課題解決の実践事例の検討②

受講者の関心がある住民組織について，文献や事例を調べ現状と課題をとらえる。また進捗状況をお互いに報告し合うことで知見を広げ，自らの課題解決の提案を磨く。

### 第15回：地域課題解決の実践事例の検討③

受講者の関心がある住民組織について，文献や事例を調べ現状と課題をとらえる。また進捗状況をお互いに報告し合うことで知見を広げ，自らの課題解決の提案を磨く。

## 事前・事後学習

---

- ・ 予習：次回のテーマ及び事前配布する参考資料を予習してくること（1時間程度）。
- ・ 復習：授業内容を復習し、疑問点を整理すること（1時間程度）。